事業所名 グループホームひまわり苑

作成日： 平成　27年　1月　5日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	今の介護計画がその方にとって最良のものであるか本人、家族、職員が同じ方向で話し合いができているか。	本人と職員、家族と職員、職員同士のコミュニケーションの時間を増やす。	日々の生活からその方の希望をくみ取る。面会時に家族の方とコミュニケーションをとり要望をさりげなく聞く。職員会議で個々についてもっと話し合いの時間を取る。	6ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度については管理者、職員ともあまり理解できておらず話し合いも持たれていない。	日常生活自立支援や成年後見制度については資料やパンフレットに目を通し、職員会議などで定期的に勉強の機会を増やす。	運営推進会議や職員会議時に役場、民生委員、社会福祉協議会などの方に来ていただき説明をしていただく。	6ヶ月
3	2	ほとんどの方が施設の近隣からの入居で、なじみの地域である。地域で役に立てる交流の場としてできることはないか。	施設の行事（誕生会、食事会、避難訓練、クリスマス会など）に地域の方に参加していただく。	介護、福祉などについての情報発信源として地域の方からの相談に応じる。老人会の集まりなどで施設のことを知っていただく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。